

早稲田大学 第一文学部 日本史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分
特徴・その他	本学部では今年から日本史が出題されるようになった。他学部にくらべ記述問題が多く、また、早稲田大には珍しく美術作品の写真が使われた。一方、他学部と比較して史料問題が出題されなかったが、今後は油断できない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
	旧石器文化と縄文文化	1 超難問。6 アは「季節的」「移動性に富んだ」から旧石器時代についての文章と判別する。下線部は縄文時代後・晩期をさす。8 盲点となりやすい語句。各大学で意外と出題されている。	標準
	律令国家の形成	難問は一つもないが、ひねった問題が多いため、日本史を暗記教科ととらえていた受験生には痛い問題だっただろう。どれも考えて解かせる良問である。	標準
	中世武士社会の主従関係	2 以外は易しい問題。また、2 (名簿)も過去に國學院大や明治大などで出題されていたうえに、早稲田の他学部の傾向から考えても、備えておけた用語である。覚えるのにも苦労しない。	やや易
	江戸時代の対外関係	5 のみ難問。レザノフは梅ヶ崎の宿舎で越冬しているため、「外国船の乗組員に臨時の日本滞在を許した」は正文。一方、江戸幕府は長崎口など4つの窓口を開いていたという。	標準
	近代の治安立法と社会運動	9 のみ難問。近代の社会運動は早稲田大では頻出テーマ。そのうえ 10(山本宣治)が	標準

	天平文化と元禄文化	出題されたのには笑ってしまった人もいるでしょう。早稲田入試では超頻出人物です。1 - は金堂と講堂で悩む。2 - (琳派) は教科書で太字だったりするが、決して頻出用語ではなく、むしろめったに書かされることのない用語。	標準
--	-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

〔総合コメント〕

大学側から公表されていたサンプル問題よりは難度が高めだったが、早稲田らしい出題も多く、備えていた人にとっては85%は十分正解できる問題であった。この数字は教科書だけの学習ではとてもはじき出せないが、なんでもかんでも覚えるのではなく、入試に出やすいものから拾っていけば可能である。たとえば「琳派」のようなめったに問われない単語を捨てて、「名簿」や「竹橋事件」で正解すべき。それは早稲田以外の大学にも大変役立つ学習法です。